



★古木の脚柱に梁を架してつなぐ。その真ん中に棟木を敷けるための小屋束を置き、1平全体で固定する。



★これまた厚材の棟木を梁に敷ける。横並びで柱として脚柱上部をこたわり。高土の気まぐれで脚柱小梁の傾斜は、棟木に大気流。



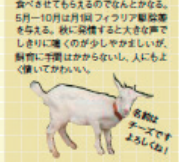
★ここで、中出し？



★字子で棟上げ完了。材料はすべてビニールによる束を付けて保管。広さもたった1坪なので、これくらいはちよら。

ママ知識

ヤギの飼育は、日中は草に群を回してひたひたついでいる。するその前日の夜を食糧に食べてくれるのが大部分。エサ代りも少ない。草量が少ないなら広い刈り込みの下草を食わせてもらえる。5月~10月は月9割フィラリア駆除薬を食える。刺し染毒すると大きな声で叫び、口をくわしてやましが、飼育に慣れるはからぬ。人にもよる懐いからぬ。



★お腹ごしらえしてよし！(B)



★脚柱の枠を立ち上げ、下側にSPF2×4材を架して脚柱の枠をつなぐ。



★角に厚く厚材。もとは角野小梁の横並びで柱で固定が楽しい。



★脚柱の枠の上に桁にして厚材を敷いてビスで固定する。厚材にはスチボラまで、水取も、取口もあきれた面で見ているだけ。



★脚柱の枠の上に桁にして厚材を敷いてビスで固定する。厚材にはスチボラまで、水取も、取口もあきれた面で見ているだけ。

ヤギの飼育は、日中は草に群を回してひたひたついでいる。するその前日の夜を食糧に食べてくれるのが大部分。エサ代りも少ない。草量が少ないなら広い刈り込みの下草を食わせてもらえる。5月~10月は月9割フィラリア駆除薬を食える。刺し染毒すると大きな声で叫び、口をくわしてやましが、飼育に慣れるはからぬ。人にもよる懐いからぬ。

Step 1 基礎~棟上げ



★長さ1820mmのSPF2×4材を隅に据え、真ん中に補強の材を1本入れる。これを2枚つくって脚柱の枠にする。



★水干壁を使って高さも合わせますヨ！



★小屋の基礎となるお土台の位置に基石を敷いて角石を敷き、先ほどつくった脚柱の枠を乗せる。厚材になるように傾斜する。

※水干壁は、壁の厚さを調整する。厚材にはスチボラまで、水取も、取口もあきれた面で見ているだけ。



★ポイント 材料は、足間をSPF2×4材と白木にストックしてあった厚材。基礎は羽子板付きピンコロ石を地面に敷いただけの壁足をも。ヤギ小屋の向かいにある二ツ口小屋とつながるよう、長さ180cmの骨で割、後取場をつくった。



和田

★ヤギは身もどき、道具も得意、小屋は風通しよく



第0回 ヤギ小屋

本誌おなじみの人社社による新連載がスタート！今回は、メンバーそれぞれがづくりたいものをDIY。第1回は、「出陣！ 人山荘」のデキト一大作戦とまで異名をとった和田がヤギ小屋をつくる。田舎暮らしの相棒として人気が高いヤギを飼うママ知識も紹介！

文：イフコト(和) 撮影：可美 監修：和

費用合計 約1万7400円

使用部分	材料	数量	価格
フレーム	SPF2×4 (80×80×1820mm)	14本	500円
前・棟木	厚材 (75×75×2400mm)	3本	0円
側木	厚材 (75×75×1700mm)	2本	0円
小屋束	厚材 (75×75×300mm)	2本	0円
柱	厚材 (60×60、12×90×1820mm)	2本	0円
脚柱	厚材 (角子片丸、15×45×450mm)	10枚	0円
基本	厚材 (35×45×1400mm)	14本	0円
屋根下地	全材 (フローリング材)	29.5㎡	0円
屋根材	平分全材 (オンデュラフタイム)	20枚	800円
厚材	全材 (オンデュラ種カバー)	3枚	0円
基礎	羽子板付きピンコロ石	6個	2400円
葺(砂)厚	厚材	3枚	0円
床	全材 (手割大木の厚板)	適宜	0円
欄干	白木板	約1.2m幅分	2000円
欄干	全材 (手割大木の厚板)	適宜	0円
欄干の柱	厚材	6本	0円



水・通風の骨石(ついに)に比べてお値段ピンコロ石。羽子板で土台に固定である。中・ロY厚材の大定額×4材。今回のヤギ小屋ではフレームに使用。右、解体現場で人手した格子天井の板。木目を洋色上らせた厚造り加工されている。

人社社

ライター中田と和山、カメラマン山口によるDIYを得意とする人権ユニット。本誌連載「人山荘」シリーズについては「笑って」古坂再生「笑って」小澤幸司「笑い」もに「笑って」が得意。人権ユニット → www.jrkit.net

